

## 近森病院 作業療法科

科長補佐 光永哲

### 概要

作業療法科の人員は1月の時点で21名（内1名育休）、4月に1名の新人を迎えて22名となった。そして8月に1名の退職があり12月には21名（内1名育休）の体制となった。

乳腺外科の開設に伴い、新たに2名をがんのリハビリテーション研修の修了資格を取得して対応が行えるようにした。また6月の診療報酬制度改定で新設されたリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算に対し、OT科で1病棟を専従・専任スタッフを配属した。病棟患者の管理・患者のADLが低下しないように評価・生活指導などを新たな試みとして開始した。

### 業務実績

月別・年間総処方数を図1に示す。年間総処方数は1,744件(前年1,772件)と前年に比べ28件の減少、月別新規処方数も月平均145件(前年平均159件)と減少となった。しかし10月は新規の入院患者が増加し、OTの処方数もここ数年で最も多くなった。外来に関しては、昨年10月より新規受け入れを中止したため0件となっている。

月別延べ実施件数を図2に示す。月別延べ入院実施件数は平均2,637件（前年2,458件）であった。月別延べ外来実施件数は平均17.8件（前年297件）となった。

疾患別リハの月別延べ総単位数を図3に示す。月平均は脳血管疾患2,464単位（前年2,452単位）、運動器疾患1,182単位（前年1,043単位）、廃用症候群915単位（779単位）、呼吸器疾患571単位（297単位）、心大血管疾患198単位（251単位）、がんリハ77単位（29単位）であった。乳腺外科のがん患者を中心にがんリハ介入単位数が増加となった。

月ごとにスタッフの出勤日数や人数で単位の変動はあるが、OTが必要な方へ介入できるようにスタッフ間で調整して対応を行った。

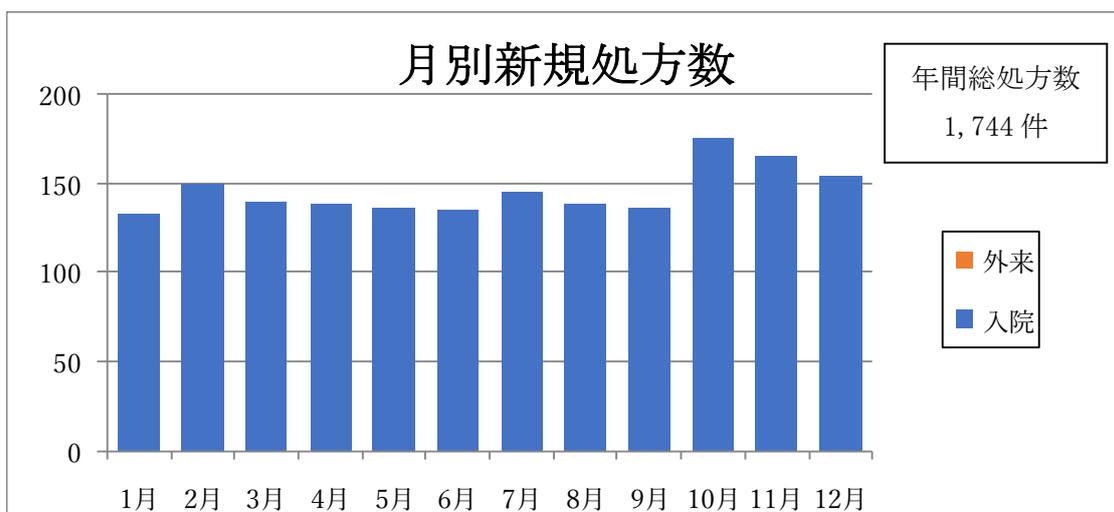


図1 月別新規処方数

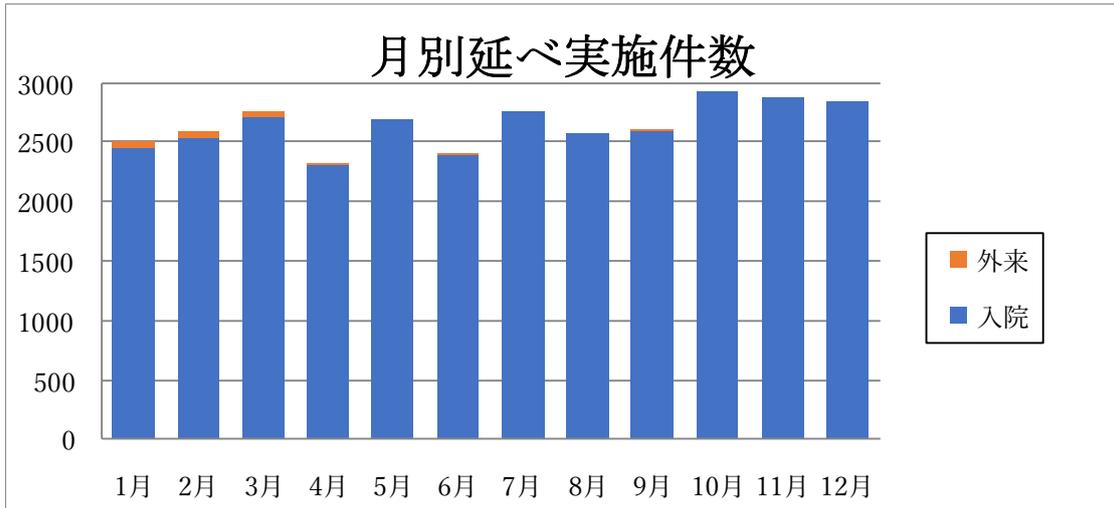


図2 月別延べ実施

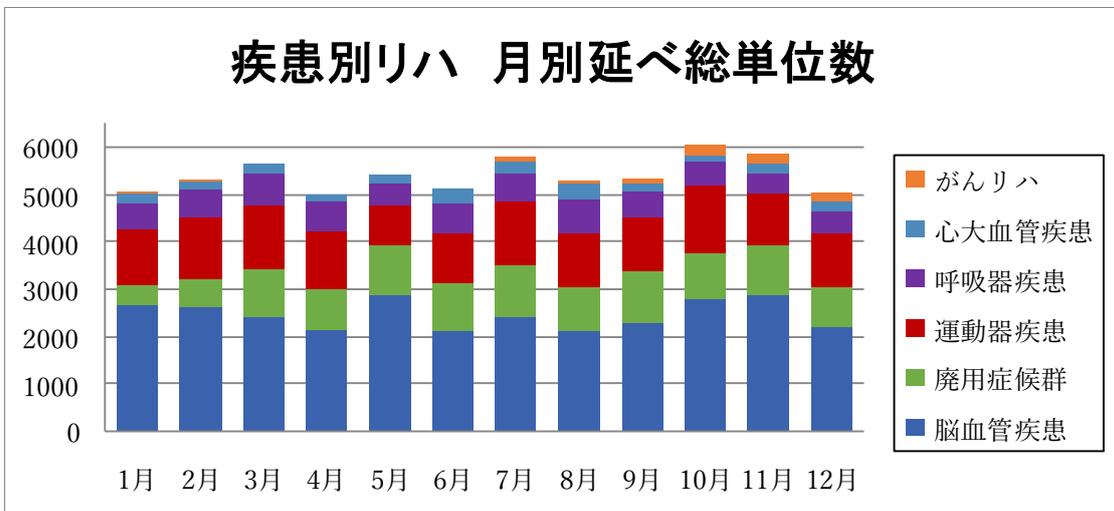


図3 疾患別リハ 月別延べ総単位数

#### 終わりに

2024年は診療報酬制度の改定などのため、新たな体制と仕組みを各スタッフへ役割を担ってもらい調整しながら運営をおこなっていった。

2025年はリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の病棟に対し、実績と関わり方の振り返りを行い、よりよい運営ができるようにしていく。また、地域の中核病院でのOT科として、引き続き教育・人材確保・業務改善は継続した課題として取り組んでいく。

#### 学術発表・講演会等

講義	講師	研修会名	開催
職業倫理および連携論、多職種連携	山本学	高知県作業療法士会 令和6年度 臨床実習指導者講習会	9月29日高知
作業療法における協業・後輩育成	山本学	高知県作業療法士会 令和6年度 現職者共通研修会	10月2日高知
職業倫理	光永哲	高知県作業療法士会 令和6年度 現職者共通研修会	10月11日高知